

3 類型	鋳工業品	通巻番号	5-25-010
地域資源名	京銘竹	認定日	平成26年2月3日
地 域	京都府京都市	所管省庁	経済産業省

事業名：京銘竹に防災加工を施した装飾竹材の開発・製造・販売

会社名：有限会社横山竹材店 所在地：京都市上京区亀屋町135
 連絡先：TEL：075-441-3981 HP：http://www.yokotake.co.jp/
 FAX：075-432-5876

事業概要（新たな活用の視点）

- ・京銘竹に防災加工を施した内装用の「装飾パネル」や「すだれ」を製造し販売する計画である。地域産業資源の京銘竹の特徴である天然の竹材の加工の際に、竹材の皮を剥がずに独特の加工を行い、その加工の後に無垢の竹材に防災加工を行うもので当社の独自の加工技術である。この加工が成功したのは、京銘竹の加工技術として長年培われた天然の竹材への加工技術が基本にあったからで、京銘竹において皮付きの天然の竹材に防災加工をしているものは存在していない。防災認定については、「装飾パネル」は「ヨコタケボード」、「すだれ」は「竹製すだれ」として（公財）日本防災協会の認定取得済みである。

晒竹平割(装飾パネル)



晒竹平割(施工例)



すだれ (施工例)



売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）

◆競争力

- ・市場で評価されている天然の竹材において、防災機能を付加した竹材を開発、販売すれば、今まで模造の竹を使っていた施設や風情のない使い方をしてきた場所に、これまでと違う角度からのアプローチが可能になる。本事業では、防災機能を積極的にアプローチをしていくことで竹材の利用範囲を拡大させ売上目標の達成を目指す。

◆市場性

- ・天然の竹材は建築内装において、天然の風合いとデザイン性、価格面等から多数用いられており、特に最近では和室が復活傾向にあるため利用が増加している。そのため近年、防災などの内装制限をクリアした竹材はないかと多くの問い合わせがある。現在、京銘竹において無垢の竹材を意匠とした内装材で防災認定を受けている製品はないため、販売の実現性は高いと見込んでいる。

◆販路

- ・当社既存の取引先等（建築設計事務所、建設会社、建材商社等、約1,000社）に積極的にアピールする他、国内外の展示会にも出展し、新規取引先の拡大を図る計画である。

地域資源における関係事業者との連携

- ・製品製造において、防災加工については関係事業者から液剤の提供を受ける他、地域の各支援団体等からは販路開拓等について支援を受ける。